

大齋節第3主日（聖書協会共同訳）

全能の神よ、どうかあなたを呼び求める僕らの願いをみ心に留め、力あるみ手を差し伸べてすべての敵を防いでください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 出エジプト記 20章1－17節

20:1 それから神は、これらすべての言葉を告げられた。

2 「私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。3 あなたには、私をおいてほかに神々があってはならない。4 あなたは自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。5 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、6 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。

7 あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主はその名をみだりに唱える者を罰せずにはおかない。8 安息日を覚えて、これを聖別しなさい。9 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。10 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、息子も娘も、男女の奴隷も、家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様である。11 主は六日のうちに、天と地と海と、そこにあるすべてのものを造り、七日目に休息された。それゆえ、主は安息日を祝福して、これを聖別されたのである。12 あなたの父と母を敬いなさい。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く生きることができる。13 殺してはならない。14 姦淫してはならない。15 盗んではならない。16 隣人について偽りの証言をしてはならない。17 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切欲してはならない。」

詩 編 第19編7－14節

- 1 神よ、わたしを守ってください // わたしはみもとに逃れます
- 2 主に向かってわたしは叫ぶ「あなたはわたしの主 // あなたのほかに幸せはない」
- 3 地にある聖徒たちに // わたしの大きな喜びがある
- 4 ほかの神々のもとに走る者は苦しみを増す // わたしは血の祭りを献げず、その名を口にすることはない
- 5 主よ、あなたはわたしの受ける譲り、わたしの受ける杯 // わたしの行方を決める方
- 6 測り縄はわたしのために良い所に落された // わたしの受けたものはすばらしい
- 7 わたしに勧めを与えてくださった主をたたえよう // 夜わたしは深く悟る
- 8 わたしは絶えず主を思う // 神はわたしの右におられ、わたしは揺るがない
- 9 心は喜びに満ち溢れ // 体は安らかに憩う

- 10 神よ、あなたはわたしを死の国に見捨てられず // あなたを敬う人が朽ち果てるのを望まれない
- 11 あなたは命の道を示してくださる // み前には溢れる喜び、みもとには永遠の楽しみがある

使徒書 ローマの信徒への手紙 7章13－25節

7:13 それでは、善いものが私に死をもたらすものとなったのでしょうか。決してそうではない。罪は罪として現れるために、善いものによって私に死をもたらしました。こうして、罪は戒めによってますます罪深いものとなりました。

14 私たちは、律法が霊的なものであると知っています。しかし、私は肉の人であって、罪の下に売られています。15 私は、自分のしていることが分かりません。自分が望むことを行わず、かえって憎んでいることをしているからです。16 もし、望まないことをしているとすれば、律法を善いものとして認めているわけです。17 ですから、それを行っているのは、もはや私ではなく、私の中に住んでいる罪なのです。18 私は、自分の内には、つまり私の肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はあっても、実際には行わないからです。19 私は自分の望む善は行わず、望まない悪を行っています。20 自分が望まないことをしているとすれば、それをしているのは、もはや私ではなく、私の中に住んでいる罪なのです。21 それで、善をなそうと思う自分に、いつも悪が存在するという法則に気付きます。22 内なる人としては神の律法を喜んでいますが、23 私の五体には異なる法則があって、心の法則と戦い、私を、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのです。24 私はなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、誰が私を救ってくれるのでしょうか。25 私たちの主イエス・キリストを通して神に感謝します。このように、私自身は、心では神の律法に仕えています、肉では罪の法則に仕えているのです。

福音書 ヨハネによる福音書 2章13－22節

2:13 ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。14 そして、神殿の境内で、牛や羊や鳩を売る者たちと両替人たちが座っているのを御覧になった。15 イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、16 鳩を売る者たちに言われた。「それをここから持って行け。私の父の家を商売の家としてはならない。」17 弟子たちは、「あなたの家を思う熱情が私を食い尽くす」と書いてあるのを思い出した。18 ユダヤ人たちはイエスに、「こんなことをするからには、どんなしるしを私たちに見せるつもりか」と言った。19 イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」20 それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、三日で建て直すと言うのか」と言った。21 イエスはご自分の体である神殿のことを言われたのである。22 イエスが死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じた。